

## 試験研究, 受託事業, OIST 共同研究事業 (OIST 海洋観測共同実施事業)

平手康市\*

沖縄科学技術大学院大学 (以下, OIST) と沖縄県の連携協定に基づき, 漁業調査船「凶南丸」による海洋調査を実施した.

漁業調査船「凶南丸」による海洋調査では, 沖縄沿岸海域 沖縄本島西海岸におけるプランクトン群の多様性及び分布調査を実施した. 本研究の目的はプランクトンの小規模な垂直分布を海洋構造と沖縄周辺の調査地点に関連づけて検証することにより, 沖縄周辺のプランクトン群構成に関する知見を収集することであった. その結果, 本調査により恩納村にお

けるオニヒトデの幼生に関する研究及び本部における海底周辺のプランクトンに関する研究の参考となる情報が得られた.

天候条件が悪く, 調査は名護湾とその周辺に限られ, また CTD で得られた水温塩分データによると, 表層から 100m 間では垂直混合が見られた. しかしながら, 各地点で明確な垂直分布パターンを観測し, 名護湾に近い地点 (TMU+, TM4u, TMU++) と他のステーション間ではプランクトン量が異なる事も確認された.

---

\*E-mail : hiratekc@pref.okinawa.lg.jp , 現所属 : 沖縄県栽培漁業センター